

7 資格取得をする学生とは？

石田 真由

7.1 はじめに

私たちの大学では資格取得のための様々なカリキュラムが用意されている。資格取得のためには通常よりも多く授業をとらなければならない。学業以外にもアルバイトやサークル活動などで忙しい大学生活だが、加えて資格取得を目指す人々にはさらに授業面での負担が増していることは明らかである。

それでも資格取得を目指そうとする理由は一体何なのであろうか。またそのような選択を行う人はどのような学生が多いのか。これらを明らかにすることが本稿の目的である。

7.2 資格取得の実績

まず今回対象となる 2009 年度卒業生の資格取得の実態を明らかにする。

表 1 資格取得の度数分布

資格取得	教員免許		図書館司書資格		博物館学芸員資格	
	度数	%	度数	%	度数	%
取得しなかった	314.0	85.6	359.0	97.8	364.0	99.2
取得した	53.0	14.4	8.0	2.2	3.0	0.8
合計	367.0	100.0	367.0	100.0	367.0	100.0

資格取得	社会調査士		福祉関係の資格	
	度数	%	度数	%
取得しなかった	326	88.8	320	87.2
取得した	41	11.2	47	12.8
合計	367	100.0	367	100.0

社会学部卒業生として取得する資格の代表的なものは「教員免許」「図書館司書資格」「博物館学芸員」「社会調査士」「福祉関係の資格」の 5 つである。分析にはある一定以上の数が必要なため、今回の分析では「教員免許」「社会調査士」「福祉関係の資格」の 3 つに絞って分析を進めていくことにする。教員免許は 53 人 14.4%、社会調査士は 41 人 11.2%、福祉関係の資格は 28 人 7.6%の社会学部生が取得している。

7.3 資格取得者の基本的属性

資格を取得した学生は、性別や学科、現役または浪人なのかによって異なっているのかについて一つずつ分析していく。

まず性別について見てみる。

表 2 性別と教員免許取得のクロス表

		資格取得: 教員免許		合計
		取得しなかった	取得した	
男性	度数	132	21	153
	性別の%	86.3%	13.7%	100.0%
女性	度数	178	32	210
	性別の%	84.8%	15.2%	100.0%
合計	度数	310	53	363
	性別の%	85.4%	14.6%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.162		
有意確率		0.687		

表 3 性別と社会調査士取得のクロス表

		資格取得: 社会調査士		合計
		取得しなかった	取得した	
男性	度数	140	13	153
	性別の%	91.5%	8.5%	100.0%
女性	度数	183	27	210
	性別の%	87.1%	12.9%	100.0%
合計	度数	323	40	363
	性別の%	89.0%	11.0%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		1.716		
有意確率		0.190		

表 4 性別と福祉関係の資格のクロス表

		資格取得: 福祉関係の資格		合計
		取得しなかった	取得した	
男性	度数	147	6	153
	性別の%	96.1%	3.9%	100.0%
女性	度数	169	41	210
	性別の%	80.5%	19.5%	100.0%
合計	度数	316	47	363
	性別の%	87.1%	12.9%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		19.116		
有意確率		0.000		

男女で比較すると、どの資格においても女性のほうが割合が高い。ただし教員免許と社会調査士においてはその差が若干のため、男女差があると言い切れるのは福祉関係の資格においてのみである。

次に学科ごとで分析してみる。

表 5 学科と教員免許取得のクロス表

		資格取得: 教員免許		合計
		取得しなかった	取得した	
社会学	度数	67	4	71
	学科・専攻の%	94.4%	5.6%	100.0%
社会福祉学	度数	75	10	85
	学科・専攻の%	88.2%	11.8%	100.0%
メディア学(新聞学)	度数	60	6	66
	学科・専攻の%	90.9%	9.1%	100.0%
産業関係学	度数	62	3	65
	学科・専攻の%	95.4%	4.6%	100.0%
教育文化学(教育学)	度数	50	30	80
	学科・専攻の%	62.5%	37.5%	100.0%
合計	度数	314	53	367
	学科・専攻の%	85.6%	14.4%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		45.985		
有意確率		0.000		

表 6 学科と社会調査士取得のクロス表

		資格取得: 社会調査士		合計
		取得しなかった	取得した	
社会学	度数	31	40	71
	学科・専攻の%	43.7%	56.3%	100.0%
社会福祉学	度数	84	1	85
	学科・専攻の%	98.8%	1.2%	100.0%
メディア学(新聞学)	度数	66	0	66
	学科・専攻の%	100.0%	0.0%	100.0%
産業関係学	度数	65	0	65
	学科・専攻の%	100.0%	0.0%	100.0%
教育文化学(教育学)	度数	80	0	80
	学科・専攻の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計	度数	326	41	367
	学科・専攻の%	88.8%	11.2%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		181.049		
有意確率		0.000		

表 7 学科と福祉関係の資格のクロス表

		資格取得: 福祉関係の資格		合計
		取得しなかった	取得した	
社会学	度数	71	0	71
	学科・専攻の%	100.0%	0.0%	100.0%
社会福祉学	度数	38	47	85
	学科・専攻の%	44.7%	55.3%	100.0%
メディア学(新聞学)	度数	66	0	66
	学科・専攻の%	100.0%	0.0%	100.0%
産業関係学	度数	65	0	65
	学科・専攻の%	100.0%	0.0%	100.0%
教育文化学(教育学)	度数	80	0	80
	学科・専攻の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計	度数	320	47	367
	学科・専攻の%	87.2%	12.8%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		178.832		
有意確率		0.000		

どの資格も学科による特徴が表れていると言える。社会学科は社会調査士のための科目を多数設置しており、社会福祉学科は福祉について、教育文化学科は教育に重きを置いた授業を主に行っている。

それまでに専門的に学んできたことを活かして、資格取得を選択していると言える。社会学科と社会福祉学科の学生については半数以上が資格取得をしていることになる。その学科に入って、せっかく学ぶのだから資格を目指そうと思う人が半数以上いるということになる。

しかし教員免許については、教育文化学科以外の学生でも取得しているケースもあり、教育文化学科に次いで社会福祉学科、メディア学科、社会学科、産業関係学科と続く。教育文化学科の学生の資格取得が他の 2 つの資格と比べて 37.5%に留まっているのは、その資格のためのカリキュラムに違いがあることが理由に挙げられるだろう。2 つの資格が専門科目を追加して受講しなければならないのに対して、教員免許のためには一般教養科目の中から多くの科目を受講する必要がある。こちらのほうが負担が多いのは明らかであり、それによって差が生まれていると考えることができる。

なおより細かい分析を反映させるために、以降の分析は社会調査士の資格取得者は社会学科の学生に、福祉関係の資格に関しては社会福祉学科の学生に範囲を限定する。

次に、現役・浪人によつての差があるのかについて分析する。

表 8 現役/浪人と教員免許取得のクロス表

		資格取得: 教員免許		合計
		取得しなかった	取得した	
現役	度数	226	38	264
	現役・浪人の別の%	85.6%	14.4%	100.0%
浪人	度数	72	13	85
	現役・浪人の別の%	84.7%	15.3%	100.0%
その他(編入, 社会人など)	度数	14	2	16
	現役・浪人の別の%	87.5%	12.5%	100.0%
合計	度数	312	53	365
	現役・浪人の別の%	85.5%	14.5%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.097		
有意確率		0.953		

表 9 現役/浪人と社会調査士取得のクロス表

		資格取得: 社会調査士		合計
		取得しなかった	取得した	
現役	度数	22	33	55
	現役・浪人の別の%	40.0%	60.0%	100.0%
浪人	度数	8	6	14
	現役・浪人の別の%	57.1%	42.9%	100.0%
その他(編入, 社会人など)	度数	1	1	2
	現役・浪人の別の%	50.0%	50.0%	100.0%
合計	度数	31	40	71
	現役・浪人の別の%	43.7%	56.3%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		1.367		
有意確率		0.505		

表 10 現役/浪人と福祉関係の資格のクロス表

		資格取得: 福祉関係の資格		合計
		取得しなかった	取得した	
現役	度数	24	37	61
	現役・浪人の別の%	39.3%	60.7%	100.0%
浪人	度数	9	8	17
	現役・浪人の別の%	52.9%	47.1%	100.0%
その他(編入, 社会人など)	度数	5	2	7
	現役・浪人の別の%	71.4%	28.6%	100.0%
合計	度数	38	47	85
	現役・浪人の別の%	44.7%	55.3%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		3.198		
有意確率		0.202		

教員免許にはほとんど差がみられない。

社会調査士と福祉関係の資格については現役生が高い割合である。また「その他(編入, 社会人)」のところにおいて、社会調査士では最も低い割合であるのに対して、福祉関係の資格では現役生と並ぶ高い割合である。しかし度数が少ないので、特に言及することはできないだろう。

7.4 資格取得者は真面目なのか？

卒業には必ずしも必要でない資格を、せっかくなのだから取ろうという学生はやはり真面目なのだろうか。「真面目」の指標を GPA の高低という指標で分析してみる。

GPA に関してはアンケートの値を二分類にまとめ直して、2.49 以下と 2.50 以上に分けた。

表 11 GPA と教員免許取得のクロス表

		資格取得: 教員免許		合計	
		取得しなかった	取得した		
GPA	1.49未満~2.49	度数	132	14	146
		%	90.4%	9.6%	100.0%
	2.50~3.50以上	度数	164	37	201
		%	81.6%	18.4%	100.0%
合計		度数	296	51	347
		%	85.3%	14.7%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗			5.246		
有意確率			0.022		

表 12 GPA と社会調査士取得のクロス表

		資格取得: 社会調査士		合計	
		取得しなかった	取得した		
GPA	1.49未満~2.49	度数	18	13	31
		%	58.1%	41.9%	100.0%
	2.50~3.50以上	度数	12	26	38
		%	31.6%	68.4%	100.0%
合計		度数	30	39	69
		%	43.5%	56.5%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗			4.873		
有意確率			0.027		

表 13 GPA と福祉関係の資格のクロス表

GPA	1.49未満～2.49	度数	資格取得: 福祉関係の資格		合計
			取得しなかった	取得した	
			13	7	20
		%	65.0%	35.0%	100.0%
	2.50～3.50以上	度数	20	37	57
		%	35.1%	64.9%	100.0%
合計		度数	33	44	77
		%	42.9%	57.1%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		5.409			
有意確率		0.020			

3つの資格全てにおいて、GPA が 2.50 以上の学生のほうが資格取得をしているということが分かる。また検定の結果でもそれが有意な結果であるということが出来る。授業に余裕をもって取り組んで、真面目に取り組んでいる人のほうが資格を取得していると言える。全体的に勉強に手が回っていないとなかなか取得を目指そうとしないのではないだろうか。

7.5 資格取得者の興味関心について

資格取得者がどのような人物かを明らかにする上で、次はどのようなことに興味関心があるのかについて分析する。学生生活でどのようなことをしていたか、というところから興味関心について探っていくこととする。調査項目は「体育会・部活」「サークル・同好会」「小説を読む」「ビジネス誌・経済誌を読む」「政治討論番組をみる」「美術館や博物館へいく」「海外旅行へいく」「スポーツをする」「ボランティア活動」「インターンシップ」の 10 項目である。回答の選択肢のうち「よくした」「ときどきした」を「した」に、「あまりしなかった」「しなかった」を「しなかった」と 2 つに分類し直して分析を行った。また先ほどから引き続き、社会調査士は社会学科の学生に、また福祉関係の資格は社会福祉学科の学生に限定することで、それぞれの学科においてよりどのような傾向のある学生が資格を取得しているのかを明らかにする。

表 14 教員免許取得と体育会参加のクロス表

教員免許	取得しなかった	度数	体育会参加		合計
			した	しない	
			61	242	303
		資格取得: 教員免許 の %	20.1%	79.9%	100.0%
	取得した	度数	14	38	52
		資格取得: 教員免許 の %	26.9%	73.1%	100.0%
合計		度数	75	280	355
		資格取得: 教員免許 の %	21.1%	78.9%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		1.228			
有意確率		0.268			

表 15 教員免許取得とサークル参加のクロス表

		サークル参加		合計	
		した	しない		
教員免許	取得しなかった	度数	172	131	303
		資格取得: 教員免許 の %	56.8%	43.2%	100.0%
	取得した	度数	33	19	52
		資格取得: 教員免許 の %	63.5%	36.5%	100.0%
合計		度数	205	150	355
		資格取得: 教員免許 の %	57.7%	42.3%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.816			
有意確率		0.366			

表 16 教員免許取得と小説のクロス表

		小説を読む		合計	
		した	しない		
教員免許	取得しなかった	度数	200	107	307
		資格取得: 教員免許 の %	65.1%	34.9%	100.0%
	取得した	度数	37	16	53
		資格取得: 教員免許 の %	69.8%	30.2%	100.0%
合計		度数	237	123	360
		資格取得: 教員免許 の %	65.8%	34.2%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.437			
有意確率		0.508			

表 17 教員免許取得と政治討論番組のクロス表

		政治討論番組を見る		合計	
		した	しない		
教員免許	取得しなかった	度数	123	181	304
		資格取得: 教員免許 の %	40.5%	59.5%	100.0%
	取得した	度数	25	28	53
		資格取得: 教員免許 の %	47.2%	52.8%	100.0%
合計		度数	148	209	357
		資格取得: 教員免許 の %	41.5%	58.5%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.837			
有意確率		0.360			

表 18 教員免許取得とスポーツのクロス表

		スポーツをする		合計	
		した	しない		
教員免許	取得しなかった	度数	186	118	304
		資格取得: 教員免許 の %	61.2%	38.8%	100.0%
	取得した	度数	34	18	52
		資格取得: 教員免許 の %	65.4%	34.6%	100.0%
合計		度数	220	136	356
		資格取得: 教員免許 の %	61.8%	38.2%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.332			
有意確率		0.565			

表 19 教員免許取得とインターンシップのクロス表

		インターンシップ		合計	
		した	しない		
教員免許	取得しなかった	度数	51	256	307
		資格取得: 教員免許 の %	16.6%	83.4%	100.0%
	取得した	度数	10	43	53
		資格取得: 教員免許 の %	18.9%	81.1%	100.0%
合計		度数	61	299	360
		資格取得: 教員免許 の %	16.9%	83.1%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.163			
有意確率		0.686			

まずは教育免許取得者について分析を行う。「体育会・部活」「サークル・同好会」「小説読む」「政治討論番組をみる」「スポーツをする」「インターンシップ」については、若干ずつではあるが資格取得者の方が高い割合でこれらを行なっていて、逆に「ビジネス誌・経済誌を読む」は低い割合になっていることが分かる。しかしその差は少なく、ほぼ資格取得に関わりはないと考えられる。

表 20 教員免許取得と美術館博物館のクロス表

		美術館博物館		合計	
		した	しない		
教員免許	取得しなかった	度数	168	140	308
		資格取得: 教員免許 の %	54.5%	45.5%	100.0%
	取得した	度数	34	18	52
		資格取得: 教員免許 の %	65.4%	34.6%	100.0%
合計		度数	202	158	360
		資格取得: 教員免許 の %	56.1%	43.9%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.816			
有意確率		0.366			

表 21 教員免許取得と海外旅行のクロス表

		海外旅行に行く		合計
		した	しない	
教員免許	取得しなかった	度数 180	127	307
		資格取得: 教員免許の % 58.6%	41.4%	100.0%
	取得した	度数 25	28	53
		資格取得: 教員免許の % 47.2%	52.8%	100.0%
合計		度数 205	155	360
		資格取得: 教員免許の % 56.9%	43.1%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		2.422		
有意確率		0.120		

表 22 教員免許取得とボランティア活動のクロス表

		ボランティア活動		合計
		した	しない	
教員免許	取得しなかった	度数 104	202	306
		資格取得: 教員免許の % 34.0%	66.0%	100.0%
	取得した	度数 29	24	53
		資格取得: 教員免許の % 54.7%	45.3%	100.0%
合計		度数 133	226	359
		資格取得: 教員免許の % 37.0%	63.0%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		8.324		
有意確率		0.004		

「美術館や博物館へいく」と答えた人は資格取得した人が 65.4%で、取得しなかった人が 54.5%であった。また「海外旅行へいく」と答えた人は資格取得した人が 47.2%で、取得しなかった人が 58.6%であった。最も差が明らかだったのは「ボランティア活動」においてである。「した」と答えたのは取得しなかった人が 34.0%だったのに対して、取得した人は 54.7%が「した」と答えた。やはり教育免許を取得した学生たちなので、子どもと触れ合うボランティアなどに多く参加しているということが想定できる。よって子どもが好き、あるいは社会貢献に対して関心があるということが考えられる。

表 23 社会調査士取得と体育会参加のクロス表

		体育会参加		合計
		した	しない	
社会調査士	取得しなかった	度数 8	23	31
		資格取得: 社会調査士の % 25.8%	74.2%	100.0%
	取得した	度数 7	33	40
		資格取得: 社会調査士の % 17.5%	82.5%	100.0%
合計		度数 15	56	71
		資格取得: 社会調査士の % 21.1%	78.9%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.723		
有意確率		0.395		

表 24 社会調査士取得とサークル参加のクロス表

		サークル参加		合計
		した	しない	
社会調査士	取得しなかった	度数 19	10	29
		資格取得: 社会調査士の % 65.5%	34.5%	100.0%
	取得した	度数 23	16	39
		資格取得: 社会調査士の % 59.0%	41.0%	100.0%
合計		度数 42	26	68
		資格取得: 社会調査士の % 61.8%	38.2%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.301		
有意確率		0.583		

表 25 社会調査士取得とサークル参加のクロス表

		小説を読む		合計
		した	しない	
社会調査士	取得しなかった	度数 21	9	30
		資格取得: 社会調査士の % 70.0%	30.0%	100.0%
	取得した	度数 27	13	40
		資格取得: 社会調査士の % 67.5%	32.5%	100.0%
合計		度数 48	22	70
		資格取得: 社会調査士の % 68.6%	31.4%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.050		
有意確率		0.824		

表 26 社会調査士取得と政治討論番組のクロス表

		政治討論番組を見る		合計
		した	しない	
社会調査士	取得しなかった	度数 14	15	29
		資格取得: 社会調査士の % 48.3%	51.7%	100.0%
	取得した	度数 16	23	39
		資格取得: 社会調査士の % 41.0%	59.0%	100.0%
合計		度数 30	38	68
		資格取得: 社会調査士の % 44.1%	55.9%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.355		
有意確率		0.552		

表 27 社会調査士取得と美術館博物館のクロス表

		美術館博物館に行く		合計
		した	しない	
社会調査士	取得しなかった	度数 16	14	30
		資格取得: 社会調査士の % 53.3%	46.7%	100.0%
	取得した	度数 26	14	40
		資格取得: 社会調査士の % 65.0%	35.0%	100.0%
合計		度数 42	28	70
		資格取得: 社会調査士の % 60.0%	40.0%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.972		
有意確率		0.324		

表 28 社会調査士取得と海外旅行のクロス表

		海外旅行に行く		合計
		した	しない	
社会調査士	取得しなかった	度数 19	11	30
		資格取得: 社会調査士の % 63.3%	36.7%	100.0%
	取得した	度数 27	13	40
		資格取得: 社会調査士の % 67.5%	32.5%	100.0%
合計		度数 46	24	70
		資格取得: 社会調査士の % 65.7%	34.3%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.132		
有意確率		0.716		

表 29 社会調査士取得とスポーツのクロス表

		スポーツをする		合計
		した	しない	
社会調査士	取得しなかった	度数 19	11	30
		資格取得: 社会調査士の % 63.3%	36.7%	100.0%
	取得した	度数 22	18	40
		資格取得: 社会調査士の % 55.0%	45.0%	100.0%
合計		度数 41	29	70
		資格取得: 社会調査士の % 58.6%	41.4%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.491		
有意確率		0.484		

表 30 社会調査士取得とボランティア活動のクロス表

		ボランティア活動		合計
		した	しない	
社会調査士	取得しなかった	度数 7	23	30
		資格取得: 社会調査士の % 23.3%	76.7%	100.0%
	取得した	度数 13	27	40
		資格取得: 社会調査士の % 32.5%	67.5%	100.0%
合計		度数 20	50	70
		資格取得: 社会調査士の % 28.6%	71.4%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.706		
有意確率		0.401		

次に社会調査士を取得した学生はどのような人々なのかを明らかにする。「体育会・部活」「サークル・同好会」「小説を読む」「政治討論番組をみる」「スポーツをする」の項目では、取得した人の方が「した」と答えた人の割合が少ない。一方、「美術館や博物館へいく」「海外旅行へいく」「ボランティア活動」では取得した人の方が「した」と答えた人の割合が多くなっている。それぞれの割合の差は少し小さいが、資格取得者はどちらかというアウトドア派、つまり部屋の中ですることよりも、外の世界で実際に体験するということに興味があることが分かる。

表 31 社会調査士取得とビジネス誌のクロス表

		ビジネス誌を読む		合計	
		した	しない		
社会調査士	取得しなかった	度数	10	20	30
		資格取得: 社会調査士の %	33.3%	66.7%	100.0%
	取得した	度数	15	25	40
		資格取得: 社会調査士の %	37.5%	62.5%	100.0%
合計		度数	25	45	70
		資格取得: 社会調査士の %	35.7%	64.3%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.130			
有意確率		0.719			

表 32 社会調査士取得とインターンシップのクロス表

		インターンシップ		合計	
		した	しない		
社会調査士	取得しなかった	度数	4	26	30
		資格取得: 社会調査士の %	13.3%	86.7%	100.0%
	取得した	度数	12	28	40
		資格取得: 社会調査士の %	30.0%	70.0%	100.0%
合計		度数	16	54	70
		資格取得: 社会調査士の %	22.9%	77.1%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		2.701			
有意確率		0.100			

より特徴を見出せたのは「ビジネス誌・経済誌を読む」「インターンシップ」の項目である。特にインターンシップに関しては取得していない人が 13.3%に対して、取得した人のうち 30.0%が「した」と答えている。この2つの項目に共通しているのは“世の中で働く”という視点である。社会調査士は企業の調査機関などで活かすことのできる資格であるので、資格取得者は“就職”をより重要視していたり社会に対する“経済的関心”が高いと考えられる。

表 33 福祉関係の資格取得と体育会参加のクロス表

		体育会参加		合計	
		した	しない		
福祉関係の資格	取得しなかった	度数	10	27	37
		資格取得: 福祉関係の資格の %	27.0%	73.0%	100.0%
	取得した	度数	9	38	47
		資格取得: 福祉関係の資格の %	19.1%	80.9%	100.0%
合計		度数	19	65	84
		資格取得: 福祉関係の資格の %	22.6%	77.4%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.734			
有意確率		0.392			

表 34 福祉関係の資格取得とサークル参加のクロス表

		サークル参加		合計
		した	しない	
福祉関係の資格	取得しなかった	度数 20	16	36
		資格取得: 福祉関係の資格の % 55.6%	44.4%	100.0%
	取得した	度数 26	20	46
		資格取得: 福祉関係の資格の % 56.5%	43.5%	100.0%
合計		度数 46	36	82
		資格取得: 福祉関係の資格の % 56.1%	43.9%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.008		
有意確率		0.930		

表 35 福祉関係の資格取得と小説のクロス表

		小説を読む		合計
		した	しない	
福祉関係の資格	取得しなかった	度数 19	18	37
		資格取得: 福祉関係の資格の % 51.4%	48.6%	100.0%
	取得した	度数 27	20	47
		資格取得: 福祉関係の資格の % 57.4%	42.6%	100.0%
合計		度数 46	38	84
		資格取得: 福祉関係の資格の % 54.8%	45.2%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.310		
有意確率		0.577		

表 36 福祉関係の資格取得と政治討論番組のクロス表

		政治討論番組を見る		合計
		した	しない	
福祉関係の資格	取得しなかった	度数 14	23	37
		資格取得: 福祉関係の資格の % 37.8%	62.2%	100.0%
	取得した	度数 15	32	47
		資格取得: 福祉関係の資格の % 31.9%	68.1%	100.0%
合計		度数 29	55	84
		資格取得: 福祉関係の資格の % 34.5%	65.5%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.321		
有意確率		0.571		

表 37 福祉関係の資格取得と美術館博物館のクロス表

		美術館博物館へ行く		合計
		した	しない	
福祉関係の資格	取得しなかった	度数 17	20	37
		資格取得: 福祉関係の資格の % 45.9%	54.1%	100.0%
	取得した	度数 28	18	46
		資格取得: 福祉関係の資格の % 60.9%	39.1%	100.0%
合計		度数 45	38	83
		資格取得: 福祉関係の資格の % 54.2%	45.8%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		1.840		
有意確率		0.175		

表 38 福祉関係の資格取得とスポーツのクロス表

		スポーツをする		合計
		した	しない	
福祉関係の資格	取得しなかった	度数 24	13	37
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 64.9%	35.1%	100.0%
	取得した	度数 29	16	45
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 64.4%	35.6%	100.0%
合計		度数 53	29	82
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 64.6%	35.4%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		0.002		
有意確率		0.968		

続いて、福祉関係の資格取得者を社会福祉学科の学生という範囲に限定して分析する。

「サークル・同好会」と「スポーツをする」の 2 つは資格取得に関わらず、ほぼ等しいという結果になった。「体育会・部活」「政治討論番組をみる」「海外旅行へいく」の項目では、取得した人の方が「した」と答えた人の割合が少ない。一方「小説を読む」「美術館や博物館へいく」では取得した人の方が「した」と答えた人の割合が多くなっている。どの項目も母集団でも有効であるとは言えないが、スポーツもするが文化・芸術も好きだ、という人が多いのではないだろうか。

表 39 福祉関係の資格取得とボランティア活動のクロス表

		ボランティア活動		合計
		した	しない	
福祉関係の資格	取得しなかった	度数 18	19	37
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 48.6%	51.4%	100.0%
	取得した	度数 32	15	47
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 68.1%	31.9%	100.0%
合計		度数 50	34	84
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 59.5%	40.5%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		3.246		
有意確率		0.072		

社会福祉学科の学生であるから「ボランティア活動」は資格取得に関わらず、全体よりも高い割合で「した」と答えている。そうした中でも取得した人はしなかった人より高い割合であるので、更に強い関心が伺える結果となった。福祉関係の資格を取得する人たちなので、福祉関係のボランティアに興味があるだろうということは想定されたが、実際に分析結果として明らかになった。

表 40 福祉関係の資格取得とビジネス誌のクロス表

		ビジネス誌を読む		合計
		した	しない	
福祉関係の資格	取得しなかった	度数 16	21	37
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 43.2%	56.8%	100.0%
	取得した	度数 9	38	47
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 19.1%	80.9%	100.0%
合計		度数 25	59	84
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 29.8%	70.2%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		5.749		
有意確率		0.016		

表 41 福祉関係の資格取得とインターンシップのクロス表

		インターンシップ		合計
		した	しない	
福祉関係の資格	取得しなかった	度数 5	32	37
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 13.5%	86.5%	100.0%
	取得した	度数 1	46	47
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 2.1%	97.9%	100.0%
合計		度数 6	78	84
		資格取得: 福祉関係の資格 の % 7.1%	92.9%	100.0%
Pearson のカイ 2 乗		4.046		
有意確率		0.044		

それに対して「ビジネス誌・経済誌を読む」「インターンシップ」の項目では「した」と答えた人の数は大きく減っている。「ビジネス誌」は 19.1%で、「インターンシップ」は 2.1%、つまり 47 人中 1 人しか「した」と答えていない。インターンシップが多く開催されるのは 3 回生の夏季休暇で、福祉関係の資格をとるための実習と重なっているためとも考えられるが、夏以降にも複数開催されているので、参加することは可能である。先ほどの社会調査士のケースとは全く反対のことが起きている。福祉関係の資格を取得する学生は企業からの視点や経済的観点で社会を考えるとということに対してはあまり興味がないということが考えられる。

7.6 まとめ

資格取得に関してここまでの分析で明らかになったことをまとめる。男女の差は特に見られなかったが、現役・浪人や GPA の高低では多少の差異があり現役で GPA の高い人が比較的多く資格を取得しているということが分かった。また資格の専門的な性格上、大

きく学科の影響を受けている。せっかくこの学科に入ったのだからとか、学んできたことを活かそうといった考えが資格取得の発端になっていると考えられる。そして学科の中でも取得する人としらない人に分かれるが、それは普段の生活にも表れているということが分かった。何らかの興味関心があり資格取得を目指すことにしたのか、あるいは資格を取ろうということがきっかけで興味を持ち始めたのかは個人によるが、それぞれの資格にある一定の関心事があることが明らかになった。

そもそもこの分析を行ったのは、私自身が資格取得を目指しているからだ。せっかく社会学科の学生になったのだから社会調査士の資格を取ることにしたことに加えて、博物館学芸員資格も取得予定である。周りの人から“物好き”などの評価を受けることがあったり、自分でも確かにわざわざしんどい道を選んでいるなど感じることもある。だから資格取得者の実態と、一体どのような人が私と同じように資格取得を目指しているのかを明らかにしたいと考えたのだった。

資格を取得しても実際に就職や社会に出るために役立っている人は少ない。けれども、ためになると感じたり面白いと思ったりすることがあるからこそ、たとえ勉強の負担が大きくなっても多くの人が続けて学ぶことができているのだと思う。また興味・関心のあることについて学んだり、志があって学ぶことはあまり苦にはならないのでは、とも考えられる。

そして最後に、取得できたときには苦勞したぶん頑張ってきて良かったなど感じることもできるのではないか、と私は考えている。